

プネ市ムラ・ムタ川汚染緩和計画【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド共和国
(2) 案件名	プネ市ムラ・ムタ川汚染緩和計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	インド中部のマハラシュトラ州プネ市において、下水道施設（下水処理場、下水管、共同トイレ等）の整備等を実施することにより、河川の水質改善を図り、もって住民の衛生環境の改善に寄与するもの。 事業内容 ・ 下水道施設等の建設及び改修 ・ 遠隔制御設備の整備 ・ 公衆トイレ整備 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成27年3月27日 イ 供与限度額：190.64億円 ウ 金利：0.30%（コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、インドでは人口増加や経済発展に伴う上水利用量の増加により、下水処理能力を超過した汚水が排出され、河川や土壌、地下水の水質汚濁等の問題が生じており、地域住民の衛生・生活環境が脅かされていた。本事業の対象地であるマハラシュトラ州プネ市でも、既存施設の処理能力を上回る下水が未処理のまま、市街地を流れるムラ・ムタ川に流れ込んでおり、人口増加にも対応可能な下水道・衛生施設等の整備が必要とされていた。 現在においても、同国では人口増加に対して下水道の整備が追いついておらず、2020年時点の同州における下水排出量は9,107百万リットル/日である一方、下水

	処理場の設備容量は 6,890 百万リットル/日（下水排出量の約 75.65%）、処理量は 4,242 百万リットル/日（下水排出量の約 46.57%）に留まっており、本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 事業実施機関による調達パッケージの見直しやコンサルタント契約手続きの遅延等により事業遅延が生じたが、コンサルタント契約後土木工事は順調に進捗しており、2026 年中に事業完成の見込みである。
（２）今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、支援を継続する。
３ 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料